

1. 笑顔・親切・丁寧
2. 清潔で安全な環境づくり
3. 全身の健康(健口)管理と予防

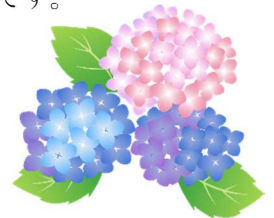
院長より

雨に打たれた紫陽花の美しい季節になりました。ついこの前新年を迎えたと思っていたのに、もう6月。上半期が終わろうとしています。学生時代は1週間がとても長く感じられたものですが、今は一日、一週間があつという間に過ぎてしまいます。やりたいこと、学びたいことは山ほどありますが、どのようにして時間を捻出するかが課題です。優先順位を決めて、時間管理がきちんとできるようになりたいものです。

5月に赤松小学校の歯科検診に行ってきました。20年くらい前までは、虫歯罹患率の高さで佐賀県は全国でワースト1でした。フッ素洗口の取り組みなどでずいぶん虫歯は減りましたが、噛み合わせの悪い子や歯肉が赤く腫れている子は増えています。特に、「過蓋咬合(かがいこうごう)」という噛み合わせの深い子どもが目立ちました。その子供たちに共通していることは姿勢の悪さと口呼吸です。いわゆる猫背で、口が半開きの状態です。姿勢の悪さは腰痛や頭痛、肩こりの原因ともなりますし、口呼吸はリウマチやアトピー、心臓疾患と関係があることが指摘されています。環境要因(ゲーム機やスマホ、体に合わない椅子、柔らかい食べ物など)も大きいと思いますが、早い段階で気付いて治してあげたいと思います。



年少期の成長の目安は口腔で見ることができます。お口は成長を導き、また成長の履歴書となると言われています。乳歯は2.5~3歳で生えそろう、乳歯の正しい歯列になることが必要です。6歳で永久歯が生え始めます。永久歯が生えるために十分な余地があることが必要です。12歳でほぼ大人の歯列が完成します。このお口の成長と身体の成長は多くが相関していると言われています。今月は赤松小学校のフリー参観日(6月12日)と愛の泉園の保育参観(6月18日)の時に、お口と体の関係についてお話しさせていただくことになっています。ご興味のある方はお出で下さい。



新しい機械を導入しました ~オゾンO3ってなんだろう?~

太陽からの有害な紫外線を吸収し、地上の生態系を保護する働きをしているのが、地球の周りを覆っているオゾン層です。

つまり、オゾンは私たちの身体を守る働きのあるものです。

特殊な技術により、オゾンを水中に溶け込ませ殺菌力に優れたお水(=オゾン水)を作る機械を先月導入しました。



この機械を使って、オゾン水を治療の中にも取り入れていきます。

★導入の理由★

オゾンの特徴は具体的には、「殺菌」「脱臭」「脱色」「生理活性」「有害物質の分解」です。そのため、近年特に医療分野でのオゾンの活用が進んでいます。

★当院での使用方法★

高い殺菌力 ⇒ 根の治療(根管洗浄)
消臭効果 ⇒ うがい用のお水
止血作用 ⇒ 抜歯後の洗浄薬

※フロイデでも、肌の浄化作用やアンチエイジング効果が期待できるため、シミ・しわ等の改善を見込んでオゾン水マスクとして、施術メニューに取り入れていく予定です。ご興味のある方は、スタッフにお尋ねください。